別紙様式第１号

#### 研修（変更）計画

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

［申請者］

住　所：

氏　名：

電話番号：

（生年月日：　　　年　　月　　日：　　歳）

メールアドレス：

神戸市就農準備資金交付要綱第６条(第７条)の規定に基づき、研修(変更)計画の承認を申請します。

なお、新規就農者育成総合対策実施要綱（令和４年３月29日付け３経営第3142号農林水産事務次官依命通知）別記２第７の３の規定に基づき本計画の内容を含め、本事業に係る交付対象者の情報は関係機関において共有されることに同意します。

また、交付要綱の規定を遵守し、就農するための研修に励むことを誓約します。

なお、交付要綱の規定により、当該資金の交付を停止され、一部又は全部を返還することについて異議はありません。その際には、既に交付を受けた資金の一部又は全部を返還することを、保証人の署名を添えて※９誓約します。

１　農業を始めようと思った理由

|  |
| --- |
|  |

２　就農時に係る計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 就農希望地 |  | 就農予定時期（就農予定時の年齢） | 年　　月（　　　歳） |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始※１□親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始※２□親の農業経営を継承※３□全体、□一部□雇用就農□親元就農※４□親の経営の全体を継承、□法人の（共同）経営□親の農業経営とは別に新たな部門を開始※２経営継承、法人の（共同）経営、又は新たな部門を開始する予定時期 年　　月 |
| 経営面積※５飼養頭羽数 | a・頭・羽（合計） | 農業所得目標※５ | 万円/年 |
| 経営内容※５ | 作目： a作目： a（その他：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |

※１　非農家出身者で独立・自営就農する者の場合

※２　農家出身者で親の農業経営を継承せずに独立・自営就農する者の場合

※３　農家出身者で親の農業経営を継承して独立・自営就農する者の場合

※４　三親等以内の親族の経営する農業経営体に就農する者の場合

※５　就農５年後の目標を記入する（雇用就農又は親元就農の場合は記入不要）

３　将来の就農ビジョン（生産物の販売方法などを記載）※６

|  |
| --- |
|  |

※６　本交付要綱第２条の(2)のエ（海外研修）の場合は、ａ及びｂについて記載する。

４　計画を達成するための研修※７

① 研修内容等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称 |  | 所在地 |  |
| 専攻・営農部門 |  | 研修期間 | 年　月　日 | ～ | 年　月　日 |
| 研修内容 |
|  |

※７　研修先が複数の場合は記入欄を追加して記入する。

② 交付期間（就農準備資金）

年 月 日 ～ 年 月 日

５　その他

|  |  |
| --- | --- |
| 常勤の雇用契約の締結 | * 締結している
* 締結していない
 |
| 生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等（例： 生活保護制度、雇用保険制度（失業手当） 等） | * 給付等を受けている
* 給付等を受けていない
 |
| 過去に本事業、農業次世代人材投資事業（準備型）、就職氷河期世代の新規就農促進事業（令和元年度補正予算、令和２年度補正予算）、就農準備支援事業、就農準備・経営開始支援事業による資金の交付 | * 交付を受けたことがある
* 交付を受けたことがない
 |
| 傷害保険の加入 | * 加入している
* ４の②の交付期間の開始日までに加入する
* 加入しない
 |
| 前年の世帯全体の所得※８ | 　　万円　　　 |
| 前年の世帯全体の所得が600万円を超えているにもかかわらず資金交付が必要な理由（超える場合のみ記入） |
|  |  |
| *※本欄は交付主体の記入欄*生活費確保の観点から支援対象とすべき切実な事情の有無（□有　□無）【所見】 |

※８　「世帯」とは本人のほか、同居又は生計を一にする別居の配偶者、子及び父母が該当。「所得」とは、地方税法第292条第１項第13号に定める「合計所得金額」。

６　保証人※９

|  |  |
| --- | --- |
| 住　所　氏　名 |  |
| 　住　所　氏　名 |  |

※９　保証人は、生計を一にしない交付額を上回る前年度所得があった者１名以上を必ず立てること。また、研修計画の変更申請で保証人に変更がない場合は記入不要。

添付書類

別添１：先進農家等で研修を受ける場合は受講する研修のカリキュラム（研修実施スケジュール、研修内容、習得する技術等が分かる研修実施計画）を添付。先進農家等以外の教育機関で研修を受ける場合は、受講する研修のカリキュラム及び受講が認められていることを証する書類を添付。

別添２：履歴書

別添３：離職票の原本（離職票の提示が可能な場合）

別添４：保証人の概要書

別添５：調査同意書

別添６：農業研修に関する確認書（先進農家等で研修する場合。）

別添７：確約書（研修終了後、親元就農する予定の場合。）

別添８：傷害保険に加入している場合は傷害保険証書の写しを添付。交付期間が開始するまでに加入予定の場合は、加入を検討している傷害保険の内容がわかるもの（パンフレット等）を添付し、加入後に傷害保険証書の写しを提出すること。

別添９：前年の世帯全体の所得を証明する書類（源泉徴収票、所得証明書等）。前年の世帯全体の所得が600万円を超える場合は、必要に応じて生活費確保の観点から資金を必要とする理由欄に記載した事情の裏付けとなる書類を添付。

別添10：身分を証明する書類（運転免許証、パスポート等の写し）

別添11：個人情報の取扱い（別紙様式第20号）

※ 未成年者の場合は、親権者又は後見人とともに申請する。

※ 変更の場合は、変更する項目のみ記入する。

別添１

#### 研修実施計画

１　研修内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月 | 研修時間 | 内　　　　　　　　容 |
| 年　　月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 月 |  |  |
| 研修時間合計 |  |  |

２　習得する技術

・

　・

　・

　・

|  |
| --- |
| 　上記の研修内容で研修を実施します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和 　　年 　　月 　　日　　（研修先名称）（住所）（電話番号） |

※上記内容が記載された研修実施計画等であれば、本様式に限らない。

別添２

#### 履歴書

１　氏名等

|  |  |
| --- | --- |
| (ふりがな) | 　 |
| 住　所 | 〒□□□－□□□□　 |
| (ふりがな) |  |
| 連絡先 | 〒□□□－□□□□　 |
| (ふりがな) | 　 | 生　年　月　日 |  | 性別 | 電話番号 |
| 氏名 | 　 | 　年　月　日 | 歳 | 1.男2.女 | 　 |

２　家族構成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 続柄 | 生年月日 | 住　所 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

３　学歴等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年 | 月 | 学歴・職歴(各別に記入) |  |  |  |
| 履歴 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  | 年 | 月 | 免許・資格 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

別添４

保証人の概要書

申請者

保証人

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |   | 生年月日 | （　　歳） |
| 住　所電　話 E-mail  |    |
| 職　業（勤務先電話） |  |
| 申請者との関係 |  | 所　得 | 　　　　　　　　　 万 円 |
| 適　要 |  |

　注）① 保証人の所得証明書（150万円以上）を添付して下さい。

　　　② 所得証明書以外に保証能力を明示するものがある場合は、併せて添付して下さい。

別添５

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　住　所：

　　　　　　　　[申請者]

　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名：

調査同意書

 　私及び私の世帯員は、神戸市就農準備資金交付要綱の規定により資金の返還金が発生した場合、返還金に関して、次の者が行う下記の調査について、同意します。

記

　　○調査内容

　　（１）市区町における住民税等の課税状況に関する調査

　　（２）金融機関における取引状況に関する調査

　　（３）生命保険の加入状況に関する調査

　　（４）勤務先等における給与支払状況等に関する調査

別添６

#### 農業研修に関する確認書（例）

　農地所有適格法人Ａ（以下、甲という。）及び研修生Ｂ（以下、乙という。）とは、農業研修について、次のとおり確認する。

第１条（研修期間）

研修期間は、令和○年○月○日から令和○年○月○日までとする。

第２条（研修生の責務）

乙は、研修期間中、甲の指示に従い、誠実な研修を遂行するとともに、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）乙は、研修期間中に知り得た甲の業務上の機密又は甲と取引する顧客情報等（個人情報を含む。）について、ほかに漏洩してはならない。

（２）乙は、甲の信用を害し品位を傷つける行為、研修の目的を逸脱する行為その他不道徳な行為及び不法な行為をしてはならない。

（３）乙は、研修期間中の不慮の事故に備え、あらかじめ傷害保険に加入しなければならない。

（４）乙は、研修計画に即して必要な技能を習得しなければならない。

（５）（１）から（４）までに違背した場合、甲の判断により研修を即時中止することができるものとする。

第３条（研修受入先の責務）

（１）甲は、乙が独立・自営就農、雇用就農又は親元就農し、就農後５年以内に農業経営を継承すること又は法人の経営者となることができるよう適切に生産技術等を教えなければならない。

（２）甲は、乙を労働者として扱ってはいけない。

第４条（損害賠償）

（１）乙は、研修中に、その責めに帰する事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合には、その損害を賠償しなければならない。

（２）乙は、研修における不慮の事故について、第２条（３）の規定に基づく傷害保険による給付があったときには、甲に対し、当該不慮の事故についての損害賠償その他一切の請求を行わないものとする。

第５条（費用の負担）

（１）研修に要する経費（○○○）は、甲が負担する。

（２）研修に要する経費（△△△）は、乙が負担する。

第○条（研修謝金）

乙は甲に月額○万円を支払う。

第６条（その他）

この確認書に定める事項について疑義が生じた場合又はこの確認書に定めのない事項については、確認書の趣旨に則り、甲・乙協議の上、定めるものとする。

　本確認書締結の証として、本書２通作成し、甲・乙それぞれ各１通を保有する。

 　　令和○年○月○日

　　甲

（住　所）

（研修先）

（氏　名）

乙

（住　所）

（氏　名）

※　農業研修が適切に実施できるよう研修先及び研修生の間で合意した確認書であれば、本確認書例に限らない。

別添７

#### 確約書

令和 年 月 日

　神戸市長　宛

住　所：

［申請者］

氏　名：

（生年月日： 年 月 日： 歳）

私は、研修終了後に親元就農する予定であるため、神戸市就農準備資金交付要綱の規定に基づき、下記の事項を実施することを確約します。

なお、同要綱の規定が遵守できなかった場合は、当該資金を全額返還いたします。

記

１ 就農に当たって家族経営協定等を締結し、私の責任や役割を明確に規定すること。

２　就農後５年以内に、当該農業経営を継承する、当該農業経営を法人化している場合は当該法人の経営者となる（親族との共同経営者になる場合を含む。）又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始すること。

（親元就農先）

|  |  |
| --- | --- |
| 経営主の氏名（法人化している場合は法人名も） |  |
| 経営主の住所（法人化している場合は所在地も） |  |

（当該農業経営を継承する、当該法人の経営者となる又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始する予定の時期）

|  |
| --- |
| 年　　月 |

別紙様式第２号

研修計画変更申請書

　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

　　　　　　　　　　　　　　　（申請者）住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

　　　　年　　月　　日付け神　　第　　　　号で承認を受けた就農準備資金に係る研修計画について、下記のとおり変更したので神戸市就農準備資金交付要綱第７条の規定に基づき申請します。

１．変更理由

２．変更内容

* 研修変更計画（別紙様式第１号）と合わせて提出する。

別紙様式第３号

#### 就農準備資金交付(変更)申請書

令和 年 月 日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第８条（第９条）の規定に基づき就農準備資金の交付を（変更）申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 交付期間 | 年　　月　　日 | ～ | 年　　月　　日 |
| 今回申請する資金の対象期間 | 年　　月　　日 | ～ | 年　　月　　日 |
| 交付申請額 |  |  |  |  | ０ | ０ | ０ | 円 |
| 常勤の雇用契約の締結 | □　締結している | □　締結していない |
| 生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等（例：生活保護制度、雇用保険制度（失業手当）等） | □　給付等を受けている | □　給付等を受けていない |

資金の振込口座※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 金融機関店舗名等 | 銀行 信用金庫 信用組合労働金庫農業協同組合 信用農業協同組合連合会　農林中金 | 店・所 | 出張所 |
|  | 金融機関コード |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 預金・貯金の種類 | 普通預金･当座預金 | 口座番号 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ゆうちょ銀行 | 記号 |  |  |  |  |  | （当座）番号 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 口座名義人 | （ふりがな）氏 名 |  |

※２回目以降の申請については、前回から変更が無い場合は記入（添付）しなくてもよい。

別紙様式第４号

#### 研修状況報告書（先進農家等用）

研修○年目・交付開始○年目 前半・後半 （○～○月分）

令和 年 月 日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

TEL

神戸市就農準備資金交付要綱第10条の規定に基づき、研修状況報告を提出します。

※ 下線部は継続研修の場合は「第13条の(2)の規定に基づき」とする。

１　研修実施日数、時間及び状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年月 | 研修時間 | 研修計画内容 | 研修状況 |
| 　年　月 | 時間 | ・・ |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 研修時間合計 |  |  |  |

２　研修実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①学んだ内容 | ②習得度 | ③今後の課題 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

３　就農に向けた今後の課題、身につける技術など

|  |
| --- |
|  |

４　就農に向けた準備状況

|  |
| --- |
|  |

添 付 書 類：研修日誌

上記のとおり研修を行っています。

研修実施機関等名　：

代表者名　　：

研修責任者名：

別添　研修日誌

○年○月分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月　日 | 研修内容 | 研修時間（単位：時間） |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |
| 合　　　　計 |  |

※　上記内容が記載された研修日誌であれば、本様式に限らない。

別紙様式第５号

#### 研修状況確認チェックリスト（第20条関係参考例）

|  |
| --- |
| 研修生住所： |
| 研修生氏名： |
|  |
|  |
| 確認者所属・名前： |
| 確認日： | 令和 | 年 | 月 | 日 |  |

１　交付対象者への面談用

ア　研修に対する取組状況

|  |  |
| --- | --- |
| ａ 研修への積極性について | 積極的に取り組んでいる　・　ほぼ取り組めている　・　消極的である |
| b 情報収集について（勉強会への参加、質問・相談の状況等） | 積極的に収集している　・　収集している　・　収集していない |
| ｃ 指導者等関係者の助言・指導への対応 | よく聞き実践している ・ 聞き入れるが実践できていない ・ 聞き入れない |

イ 技術の習得状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ａ 栽培管理等の技術・知識の習得状況について | ４：研修内容を十分に理解し、１人で作業できる３：研修内容を理解し、１人で作業できるものの品質等は劣る２：研修内容は概ね理解しているものの指導を受けながらでないと作業できない１：研修内容を理解していなく作業できない０：まだ習っていない | 今後の課題 |
| [作物（畜種）名： ] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| [作物（畜種）名： ] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| [作物（畜種）名： ] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ｂ　機械・機器・施設の操作方法・整備・安全対策について | ４：研修内容を十分に理解し、１人で適切に操作できる３：研修内容を理解し、確認しながらであれば１人で操作できる２：研修内容は概ね理解しているものの指導を受けながらでないと操作できない１：研修内容を理解していなく操作できない０：まだ習っていない | 今後の課題 |
| [機械（施設）名：　　　　　　　　　　　　　] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| [機械（施設）名：　　　　　　　　　　　　　] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| [機械（施設）名：　　　　　　　　　　　　　] | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ｃ 農業経営に関する知識の習得状況について | ４：理解している３：一部分からないところがある２：分からないことの方が多い１：ほとんど分からない０：まだ習っていない | 今後の課題 |
| 販売促進の考え方 | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| 流通・マーケティングの基礎 | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| 帳簿の付け方 | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| 財務諸表の読み方 | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |
| 労務管理に関する知識 | ４　　・　　３　　・　　２　　・　　１　　・　　０ |  |

ウ 就農に向けた準備状況

（共通）

|  |  |
| --- | --- |
| a　就農に向けた情報収集について | 既に開始している　・　開始していない |

（独立・自営就農希望の場合）

|  |  |
| --- | --- |
| a　経営に関する計画の作成状況 | 作成済み ・ 作成中 ・ 情報収集中 ・ まだ着手していない |
| b　初期投資等の資金の確保について | 確保済み ・ 見込みは立っている準備を始めたが、見込みは立っていない ・ まだ着手していない |
| c　農地の確保について | 確保済み ・ 交渉中 ・ 情報収集中 ・ まだ着手していない |
| d　目標地図又は人・農地プランへの位置づけについて | 位置づけられている ・ 位置づけられる見込みである集落内で話し合い中　・ 市町村等へ相談中であるまだ働きかけをしていない |

（雇用就農希望の場合）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ａ　農業法人や農家への就農に向けた活動について | 内定済み | ・ | 就職活動中 | ・ | 情報収集中 | ・ | まだ活動していない |

（親元就農希望の場合）

|  |  |
| --- | --- |
| ａ 就農先の経営内での自らの役割について | 確定済み ・ 検討中 ・ まだ検討していない |
| b 継承への段取りについて | 明確にスケジュールを立てられている ・ 検討中まだ検討していない |

２　研修指導者への面談用

ア　研修取組状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ａ | 研修への積極性について | 積極的である　・　普通　・　消極的である |
| b | 情報収集について（勉強会への参加、質問・相談の状況等） | 積極的である　・　普通　・　消極的である |
| ｃ | 指導者等関係者の助言・指導への対応 | 聞き入れている　・　概ね聞き入れている　・　聞き入れない |

イ 技術の習得状況 ５：ほぼ完全に理解している。 ４：概ね（８割程度）理解している。 ３：普通（５割程度） ２：やや理解が劣る。（３割程度） １：理解していない。０：まだ習っていない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ａ | 栽培管理の技術・知識の習得状況について |  | 今後の課題 |
| [作物（畜種）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| [作物（畜種）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| [作物（畜種）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ｂ | 機械・機器・施設の操作方法・整備・安全対策について |  | 今後の課題 |
| [機械（施設）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| [機械（施設）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| [機械（施設）名： | ] | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ｃ　農業経営等に関する知識の習得状況について |  | 今後の課題 |
| 販売促進の考え方 | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | ０ |  |
| 流通・マーケティングの基礎 | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | ０ |  |
| 帳簿の付け方 | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| 財務諸表の読み方 | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |
| 労務管理の知識 | ５ | ・ | ４ | ・ | ３ | ・ | ２ | ・ | １ | ・ | 0 |  |

ウ 就農に向けた準備状況

|  |  |
| --- | --- |
| （共通） | 今後の課題 |
| ａ　就農に向けた情報収集について | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |
| （独立・自営就農希望の場合） |
| a　経営に関する計画の作成状況 | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |
| b　資金の準備について | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |
| c　農地の確保について | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |
| d　目標地図又は人・農地プランへの位置づけについて | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |

（雇用就農希望の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ａ | 農業法人や農家への就農に向けた活動について | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |

（親元就農希望の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ａ | 就農先の経営内での自らの役割について | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |
| b | 継承（又は親の農業経営とは別に新たな部門開始）への段取りについて | 積極的である ・ 普通 ・ 消極的である |  |

エ 研修指導者の研修生に対する所見

|  |
| --- |
|  |

３ 書類確認用

ア 成績表 ※発行されている場合のみ確認する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a | 評価が著しく低い項目がないか | 多数ある | ・ | 少しある | ・ | ない |

イ 出席状況

|  |  |
| --- | --- |
| a 概ね１年かつ概ね1,200時間以上の研修を受けているか | 受けている（受ける見込み） ・ 受けていない（受ける見込みがない） |
| b 研修への出席（参加）状況　　※実績値を記入（出席（参加）率等） |  |

ウ 研修時間及び休憩時間

|  |  |
| --- | --- |
| a 原則１日８時間を超えていないか | ・超えていない・繁忙期など実際の農作業を実施する上で必要な研修とされる場合は超える時期もあるが、それ以外は超えていない・恒常的に超えている |
| b 休憩時間は適切に与えられているか（研修時間が６時間を超えれば45分以上、８時間を超えれば１時間以上の休憩を研修時間の途中に与えられているか） | 与えられている・与えられていない |
| ｃ　休日は適切に与えられているか（毎週１日以上又は４週間を通じて４日以上の休日を与えられているか） | 与えられている・与えられていない |

４ 総合所見

|  |
| --- |
|  |

別紙様式第６号

#### 中止届

令和 年 月 日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

就農準備資金の受給を中止しますので、神戸市就農準備資金交付要綱第11条の規定に基づき中止届を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 中止日 | 年　　月　　日 |
| 中止理由 |  |

別紙様式第７号

#### 休止届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

就農準備資金の受給を休止しますので、神戸市就農準備資金交付要綱第12条の１の規定に基づき休止届を提出します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 休止予定期間 | 年 | 月 | 日 | ～ | 年 | 月 | 日 |
| 休止理由 |  |
| 再開に向けたスケジュール | 年 | 月 | 日 |  |
| 年 | 月 | 日 |  |
| 年 | 月 | 日 |  |
| 年 | 月 | 日 |  |

添付書類

・母子手帳の写し（妊娠・出産により休止する場合）

・被災証明等被災が確認できる書類（災害により休止する場合）

別紙様式第８号

#### 研修再開届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

就農準備資金の受給を再開しますので、神戸市就農準備資金交付要綱第12条の２の規定に基づき研修再開届を提出します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 休止期間 | 年 | 月 | 日 | ～ | 年 | 月 | 日 |
| 研修再開日 | 年 | 月 | 日 |  |
| 研修機関等 |  |
| 交付残期間 | 年 | 月 | 日 | ～ | 年 | 月 | 日 |

別紙様式第９－１号（就農準備資金のみの交付対象者）

※就農準備資金の交付後、経営開始資金を受給した者は、神戸市経営開始資金交付要綱に基づく様式を適用する。

#### 就農状況報告(独立・自営就農)

経営開始○年目・交付終了後○年目　（○～○月分）

令和　年　月　日

神戸市長　宛

住　所

氏　名

TEL

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(1)の規定に基づき就農状況報告を提出します。

１．独立・自営就農（予定）時期（どちらかにチェックする。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 既に就農している | 年 月 日就農 |
|  | まだ就農していない ※ | 年 月就農予定 |

※まだ就農していない場合は、以下の欄は記入不要（添付書類も不要）

２．営農実績報告　　　※必要に応じて行を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 作物・部門名 | 作付面積（a）・飼養頭数等 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 合計 |  |
| 農業経営の構成（交付対象者本人・家族労働力） | 氏名 | 年齢 | 交付対象者・交付対象者との続柄（法人経営にあたっては役職） | 年間の農業従事日数※ | 担当業務 |
|  |  | 本人 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 雇用労働力 | （人・日※） |

※１日の農業従事時間を８時間で換算

３．経営規模の報告　　　　　　　　　　※必要に応じて行を追加してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経営耕地 | 区分 | 面積（a） |
| 所有地 |  |
| 借入地 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |
| 特定作業受託 | 作目 | 作業内容 | 実績 |
| 作業受託面積等 | 生産量 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 作業受託 | 作目 | 作業内容 | 実績（作業受託面積等） |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 単純計 |  |  |
| 換算後 |  |  |

※　「特定作業受託」欄に、作目別に、主な基幹作業を受託する農地（申請者が当該農地に係る収穫物についての販売委託を引き受けることにより販売名義を有し、かつ、当該販売委託を引き受けた農産物に係る販売収入の処分権を有するものに限る。）の作業受託面積等、生産量を記載

「作業受託」欄に、「特定作業受託」欄に記載した作業受託以外の作業受託について、記載。作目別、基幹作業別に、作業受託面積を記載するとともに、「換算後」欄に「作業受託面積÷作業数」により換算した面積を記載する。

４．前年の世帯全体の所得（資金含む）＊１

※経営開始資金の交付期間中の者のみ記入

|  |  |
| --- | --- |
| 　万円 |  |
| 前年の世帯全体の所得が600万円を超えているにもかかわらず資金交付が必要な理由（超える場合のみ記入） |
|  |  |
| ※本欄は交付主体の記入欄生活費確保の観点から支援対象とすべき切実な事情の有無（□有　□無）【所見】 |

５．農業経営基盤強化準備金（※）（どちらかにチェックする。）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 積み立てている |
|  | 積み立てていない |

※農業者が、経営所得安定対策等の交付金を農業経営改善計画などに従い、「農業経営基盤強化準備金」として積み立てた場合、この積立額について、個人は必要経費に、法人は損金に算入できる制度。

６．地域のサポート体制について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 専属担当者（経営・技術） | 専属担当者（営農資金） | 専属担当者（農地） |
| 氏名又は職名 |  |  |  |

相談実績又は今後相談したいことについて

|  |
| --- |
|  |

７．報告対象期間における都道府県主催の新規就農者等交流会（※）への参加について（どちらかにチェックする。）

※国の実施要綱別記２の第７の２の（12）に規定する都道府県が開催する新規就農者等の交流会

|  |  |
| --- | --- |
|  | 参加した |
|  | 参加しなかった |

（「参加した」にチェックした場合は以下も記載する。）

|  |  |
| --- | --- |
| 参加した回数 | 回 |
| 交流会の内容（対象者、実施内容など） |  |

８．農業共済その他農業関係の保険への加入状況について

（どちらかにチェックする。）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 加入している |
|  | 加入していない |

（「加入している」にチェックした場合は以下も記載する。）

|  |  |
| --- | --- |
| 加入している農業共済等の名称 |  |

９．計画達成に向けた今後の課題と改善に向けた取組

（就農準備資金の交付対象者については別紙様式第１号の研修計画の「２　就農時に係る計画」、経営開始資金の交付対象者については青年等就農計画並びに別紙様式第２号の別添１の収支計画の達成に向けた課題、改善策及びその取組状況を記載する。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 計画達成に向けた課題 | 改善策（課題解決に向けた改善策を具体的に記入） | 改善策の取組状況等（改善策の取組状況、結果及び課題の解決状況を具体的に記入） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

添付書類

別添　１．作業日誌の写し（夫婦型の場合は、それぞれの作業従事状況（作業日、作業内容、作業時間）が分かるよう作成すること）＊２

２．経営開始資金交付対象者は、決算書＊３及び確定申告時の青色申告決算書（白色申告者は、収支内訳書）の写し（７月の報告の際のみ添付する。）

就農準備資金交付対象者は、確定申告時の青色申告決算書（白色申告者は、収支内訳書）の写し（７月の報告の際のみ添付する。）

３．通帳及び帳簿の写し＊３

４．農地及び主要な農業機械・施設の一覧、農地の権利設定の状況が確認できる書類及び農業機械・施設を自ら所有し、又は借りていることが確認できる書類＊３

５.農業経営改善計画又は青年等就農計画認定書の写し＊４

６．前年の世帯全体の所得を証明する書類（源泉徴収票、所得証明書等）。前年の世帯全体の所得が600万円を超える場合は、必要に応じて生活費確保の観点から資金を必要とする理由欄に記載した事情の裏付けとなる書類を添付＊５

７．環境負荷低減のチェックシート（原則、１月の報告の際のみ添付する。）（令和6年度以降に承認された交付対象者）

＊１　７月の報告の際のみ記入する。

＊２　就農準備資金研修終了後については、就農後、交付期間の 1.5 倍（第３条のなお書きにより海外研修を実施した場合は５年間）又は２年間のいずれか長い期間の報告の際に添付する。

＊３　就農準備資金の交付を受けた者のうち、親元就農した者が当該農業経営を継承する、当該農業経営を法人化して当該法人の経営者（親族との共同経営者になる場合を含む。）となる又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始する場合の、１回目の報告の際のみ添付する（それ以外の者は、就農届（別紙様式第14号）で既に提出した書類等から変更がない場合、省略することができる。）。

＊４　就農準備資金の交付を受けた場合、認定後最初の報告のみ添付する。複数の新規就農者で法人を立ち上げる場合又は既存の法人に役員として加わる場合は、法人の定款等の確認できる書類の写しを添付する。

＊５　経営開始資金の７月の報告の際の交付期間のみ添付する。

別添１

作業日誌

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 作業内容 | 作業時間（単位：時間） |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
|  | 合 | 計 |  |

※上記内容が記載された作業日誌であれば、本様式に限らない。夫婦型や複数の新規就農者が新たに立ち上げた農業法人の場合は、それぞれの作業従事状況（作業日、作業内容、作業時間）が分かるよう、別々に作成すること。また、作業受託がある場合は、特定作業受託の作業か作業受託の作業か分かるように記載すること。

別紙様式第９－２号

#### 就農状況報告(雇用就農)

就農○年目・交付終了後○年目 （○～○月分）

令和 年 月 日

神戸市長　宛

住　所

氏　名

TEL

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(1)の規定に基づき就農状況報告を提出します。

１．雇用就農（予定）時期（どちらかにチェックする。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 既に就農している | 年 月 日就農 |
|  | まだ就農していない ※ | 年 月就農予定 |

※まだ就農していない場合は、以下の欄は記入不要

２．雇用先の農業法人等の名称等

|  |  |
| --- | --- |
| 法人等名 |  |
| 住　　所 |  |
| 電話番号 |  |

３．担当している業務

|  |
| --- |
|  |

４．今後の課題及び目標

|  |
| --- |
|  |

５．農業従事日数・時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 日 |  | 時間 |

６．報告対象期間における交流会への参加について

|  |  |
| --- | --- |
|  | 参加した |
|  | 参加しなかった |

（「参加した」にチェックした場合は以下も記載する。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 参加した回数 | 回 |  |
| 交流会の内容（対象者、実施内容など） |  |

別紙様式第９－３号

#### 就農状況報告(親元就農)

就農○年目・交付終了後○年目 （○～○月分）

令和 年 月 日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

TEL

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(1)の規定に基づき就農状況報告を提出します。

１．親元就農（予定）時期（どちらかにチェックする。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 既に就農している | 年 月 日就農 |
|  | まだ就農していない ※ | 年 月就農予定 |

※まだ就農していない場合は、以下の欄は記入不要

２．就農先の経営主の氏名等

|  |  |
| --- | --- |
| 氏 名 |  |
| 住 所 |  |
| 電話番号 |  |

３．担当している業務

|  |
| --- |
|  |

４．今後の課題及び目標

|  |
| --- |
|  |

５．農業従事日数・時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 日 |  | 時間 |

６．経営継承（法人の場合は経営者となる）又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始予定時期

|  |
| --- |
| 年　　月　予定 |

７．報告対象期間における交流会への参加について

|  |  |
| --- | --- |
|  | 参加した |
|  | 参加しなかった |

（「参加した」にチェックした場合は以下も記載する。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 参加した回数 | 回 |  |
| 交流会の内容（対象者、実施内容など） |  |

添付書類

別添 １．作業日誌の写し

２．青色事業専従者給与に関する届出書（変更届出書）の写し（交付対象者にかかる変更がある場合）

３．家族経営協定等の写し（交付対象者にかかる変更がある場合）

※　親元就農後に当該農業経営を継承する、法人の（共同）経営者となる又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始することにより、独立自営就農した場合は、それ以降の就農状況報告は、別紙様式第９－１号（経営開始資金を受けた場合は市の経営開始資金交付要綱の別紙様式第７号）により報告することとする。

別添１

 作業日誌

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 作業内容 | 作業時間（単位：時間） |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
| 月 | 日 |  |  |
|  | 合計 |  |

※ 上記内容が記載された作業日誌であれば、本様式に限らない。

別紙様式第 10 号

#### 継続研修計画

令和　　年　　月　　日

神戸市長　宛

住　所

氏　名

TEL

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(2)の規定に基づき継続研修計画の承認を申請します。

１　就農時に係る計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 就農希望地 |  | 就農予定時期 | 年　　月 |
| （就農予定時の年齢） | （　　　歳） |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始□親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始□親の農業経営を継承□全体、□一部□雇用就農□親元就農□親の経営の全体を継承、□法人の（共同）経営□親の農業経営とは別に新たな部門を開始経営継承、法人の（共同）経営、又は新たな部門を開始する予定時期 年　　　月 |
| 経営面積\*１ 飼養頭羽数 |  a・頭・羽（合計） |  農業所得目標\*１ | 万円/年 |
| 経営内容＊１ | 作目： 　　　　　　　 　　a作目： 　　　　　　　 　　a（その他： 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

２　将来の経営ビジョン（生産物の販売方法などを記載）

|  |
| --- |
|  |

３　継続研修の内容＊２

|  |  |
| --- | --- |
| 継続研修を実施する理由 | 　　 |
| 研修機関等の名称 |  | 所在地 |  |
| 専攻・営農部門 | 　　　 | 研修期間 | 年　月　日 | ～ | 年　月　日 |
| 継続研修内容 |
|  |

添付書類

別添：先進農家等で研修を受ける場合は、受講する研修のカリキュラム（研修実施スケジュール、研修内容、習得する技術等が分かる研修実施計画）を添付。先進農家等以外の教育機関で研修を受ける場合は、受講する研修のカリキュラム及び受講が認められていることを証する書類）

＊１ 就農５年後の目標を記入する（雇用就農の場合は記入不要）。

＊２ 研修先が複数の場合は記入欄を追加して記入する。

別紙様式第 11 号

#### 継続研修届

令和　　年　　月　　日

　　神戸市長　宛

住　所

氏　名

継続研修を開始しましたので、神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(2)の規定に基づき継続研修届を提出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 継続研修開始日 | 年 | 月 | 日 |
| 継続研修終了予定日 | 年 | 月 | 日 |
| 研修機関等 |  |

別紙様式第 12 号

#### 住所等変更届

令和　　年　　月　　日

　　神戸市長　宛

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(3)の規定に基づき住所等変更届を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 変更前 | 氏名住所電話番号その他（ ） |
| 変更後 | 氏名住所電話番号その他（ ） |

添付書類：変更後の住所を証明する書類（運転免許証、パスポート等の写し）

別紙様式第 13 号

#### 就農遅延届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(4)の規定に基づき就農遅延届を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 就農期限日 | 年　　月　　日 |
| 就農予定日 | 年　　月　　日 |
| 遅延理由 |  |
| 就農に向けたスケジュール | 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |

別紙様式第 14 号

#### 就農届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

以下のとおり就農しましたので、神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(5)の規定に基づき就農報告を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研修終了日 | 年 月 日 |
| 独立・自営就農、雇用就農又は親元就農した日 | 年 月 日 |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始□親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始□親の農業経営を継承（□全体、□一部）□雇用就農 農業法人等の名称・住所・電話番号□親元就農 □親の経営の全体を継承、□法人の（共同）経営　　　※１　□親の農業経営とは別に新たな部門を開始経営継承、法人の（共同）経営、又は新たな部門を開始する予定時期　　　年 　　月 |
| 就農地の市町村 |  |
| 経営耕地（a）※２ | 所有地 |  |
| 借入地 |  |
| 営農作物※２ |  |
| 経営開始型の受給※２ | □ 有り □ 無し □ 未定 |
| 雇用就農資金の活用※３ | □ 有り □ 無し □ 未定 |

※下線部は、研修終了後に親元就農し、その後、当該農業経営を継承する、法人の（共同）経営者となる又は親の農業経営とは別に新たな部門を開始することにより独立・自営就農した場合は「親元就農」とする。

※１　親元就農時の就農報告の場合のみ記入できる。

※２　独立・自営就農の場合のみ記入

※３　雇用就農の場合のみ記入

添付書類

・農地及び主要な農業機械・施設の一覧、農地の権利設定の状況が確認できる書類、農業機械・施設を自ら所有し、又は借りていることが確認できる書類及び通帳の写し（独立・自営就農の場合）

・雇用契約書等の写し（雇用就農の場合）

・青色事業専従者給与に関する届出（変更届出）書の写し（親元就農の場合）

・家族経営協定等の写し（親元就農の場合）

別紙様式第 15 号

#### 就農中断届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(6)の規定に基づき就農中断届を提出します。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 就農中断予定期間 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 | 日 |
| 中断理由 |  |
| 就農再開に向けたスケジュール | 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |
| 年　　月　　日 |  |

別紙様式第 16 号

#### 就農再開届

令和　　年　　月　　日

神戸市長　宛

住　所

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(6)の規定に基づき就農再開届を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 就農中断期間 | 年 月 日 ～ 年 月 日 |
| 就農再開日 | 年 月 日 |
| 要就農継続残期間 | 就農再開日 ～ 年 月 日 |

別紙様式第17号－１号（独立・自営就農者向け）

#### 就農状況確認チェックリスト（第22条関係参考例）

|  |
| --- |
| 確認対象者住所： |
| 確認対象者氏名： |
| 経営開始資金交付の有無： |  |  | 有 |  | ・ | 無 |
|  |
| 確認者所属・名前： |
| 確認日： 令和 | 年 | 月 | 日 |  |

１　交付対象者への面談用

ア　営農に対する取組状況

|  |  |
| --- | --- |
| a 営農に対する意欲 | 強い意欲がある　・　意欲がある　・　意欲がない |
| b 情報収集について（研修会等への参加、質問・相談の状況等） | 積極的に収集している　・　収集している　・　収集していない |
| c サポートチーム等関係者の助言・指導への対応 | よく聞き実践している　・　聞き入れるが実践していない　・　聞き入れない |
| d 地域のコミュニティ・活動への参加・協力状況について | 積極的に参加・協力している　・　たまに参加・協力している　・　参加・協力していない |

イ　栽培・経営管理状況

|  |  |
| --- | --- |
| a 栽培管理の技術・知識の習得状況 | 習得できている ・ 概ね習得できている ・ 習得していない |
| b 機械・機器・施設の操作方法・安全対策の習得状況 | 習得できている ・ 概ね習得できている ・ 習得していない |
| c 農業経営に関する知識の習得状況 | 習得できている ・ 概ね習得できている ・ 習得していない |
| d スケジュール管理について | 先を見越した管理ができている ・ 作業が遅れない程度に管理できている ・ 管理できていない |
| e 経営管理について | 自主的に進めている ・ 意見を聞きながら進めている ・ 自主性がない |
| f 効率化、コスト低減に向けた取組 | 工夫して取り組んでいる ・ 取り組むよう努力している・ 取り組んでいない |
| g 経営状況（収支状況）の把握 | 把握している ・ 概ね把握している ・ 把握していない |
| h 課題の把握 | 把握し改善に取り組んでいる ・ 把握し改善策を検討している ・ 把握していない |

ウ 青年等就農計画等の達成に向けた取組状況

|  |  |
| --- | --- |
| ａ 経営規模について | ①計画どおりの規模で経営している ・ ②概ね計画どおりの規模で経営している③計画どおりに進んでいない。 |

③計画どおりに進んでいない場合は、その理由と改善策について

|  |
| --- |
| [理由] |
|  |
| [改善策] |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ｂ | 生産量について |  |  |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの量を生産している ・ ②概ね計画どおりの量を生産している③計画どおりに生産できていない |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの量を生産している ・ ②概ね計画どおりの量を生産している③計画どおりに生産できていない |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの量を生産している ・ ②概ね計画どおりの量を生産している③計画どおりに生産できていない |

③計画どおりに進んでいない場合は、その理由と改善策について

|  |
| --- |
| [理由] |
|  |
| [改善策] |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ｃ | 売上高について |  |  |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの売上を計上している ・ ②概ね計画どおりの売上を計上している③計画どおりの売上げを得られていない。 |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの売上を計上している ・ ②概ね計画どおりの売上を計上している③計画どおりの売上げを得られていない。 |
|  | [作物（畜種）名： | ] | ①計画どおりの売上を計上している ・ ②概ね計画どおりの売上を計上している③計画どおりの売上げを得られていない。 |

③計画どおりに進んでいない場合は、その理由と改善策について

|  |
| --- |
| [理由] |
|  |
| [改善策] |
|  |

エ　労働環境等に対する取組状況

|  |  |
| --- | --- |
| a 圃場周辺・作業場・施設内等の整備状況 | 清潔で快適に整備できている　・　概ね整備できている　・　整備できていない |
| b 農作業安全への取組状況 | 安全性に十分配慮し事故防止に取り組んでいる　・　概ね取り組んでいる　・　取り組んでいない |
| c 食品衛生管理への取組状況（加工を行っている場合のみ） | 食品の安全性確保のため十分に取り組んでいる ・ 概ね取り組んでいる ・ 取り組んでいない |

２ ほ場（現地）確認用

ア　耕作すべき土地が遊休化されていないか

|  |
| --- |
| 遊休化されている土地はない ・ 概ね遊休化されている土地はない ・ 遊休化されている土地がある作付期間外である |

イ 農作物を適切に生産しているか

|  |
| --- |
| 適切に生産されている ・ 概ね適切に生産されている適切に生産されていない土地がある。（管理が不十分で雑草が生い茂っている土地がある。） ・ 作付期間外である |

３　書類確認用

ア　農業従事日数

日、 時間

イ　帳簿の管理状況

|  |
| --- |
| 適切に帳簿をつけている ・ 帳簿をつけているが、一部、記帳されていないものがある ・ 帳簿をつけていない |

ウ 農地の権利設定状況 （農地の権利設定に変更があった場合のみ）

|  |
| --- |
| 農地法第３条の許可等（※）により農地の権利を有している ・ 農地法第３条の許可等を得ていない |

※公告のあった農用地利用集積計画、農用地利用配分計画、農用地利用集積等促進計画、都市農地の貸借の円滑化に関する法律第４条第１項の規定に基づく事業計画又は特定作業受委託契約書による農地の権利設定を含む。

変更後の農地面積

|  |  |
| --- | --- |
| 所有地 | ａ |
| 借入地 | 親族から | ａ |
| 第三者から | ａ |

４　総合所見

|  |
| --- |
|  |

別紙様式第17号－２号（雇用就農者向け）

#### 就農状況確認チェックリスト（第22条関係参考例）

|  |
| --- |
| 確認対象者住所： |
| 確認対象者氏名： |
|  |
|  |
| 確認者所属・名前： |
| 確認日： | 令和 | 年 | 月 | 日 |  |

１　確認対象者本人への面談用

ア　現在の職務内容・担当部門

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職務内容担当部門 |  | （具体的な業務内容） |

現在の業務に従事するにあたり、課題だと考えている点や今後の目標について

|  |
| --- |
| [課題] |
|  |
| [今後の目標] |
|  |

２　雇用主への面談用

ア　確認対象者の現在の職務内容・担当部門

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職務内容担当部門 |  | （具体的な業務内容） |

確認対象者の就業実態を見て、課題だと考えている点や今後の目標について

|  |
| --- |
| [課題] |
|  |
| [今後の目標] |
|  |

イ 雇用主の確認対象者に対する所見

|  |
| --- |
|  |

３　書類確認用

ア 出勤簿等（出勤状況のわかる書類）

|  |
| --- |
| 予定どおり出勤している ・ 欠勤が多い ・ ほぼ欠勤している |
| 概ねの出勤状況 | 割程度 |

４　総合所見

|  |
| --- |
|  |

別紙様式第17号－３号（親元就農者向け）

#### 就農状況確認チェックリスト（第22条関係参考例）

|  |
| --- |
| 確認対象者住所： |
| 確認対象者氏名： |
|  |
|  |
| 確認者所属・名前： |
| 確認日： | 令和 | 年 | 月 | 日 |  |

１　確認対象者本人への面談用

ア　現在の職務内容・担当部門

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職務内容担当部門 |  | （具体的な業務内容） |

現在の業務に従事するにあたり、課題だと考えている点や今後の目標について

|  |
| --- |
| [課題] |
|  |
| [今後の目標] |
|  |

イ　継承等に向けた準備の状況

|  |
| --- |
|  |

２　経営主への面談用

ア　確認対象者の現在の職務内容・担当部門

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職務内容担当部門 |  | （具体的な業務内容） |

確認対象者の就業実態を見て、課題だと考えている点や今後の目標について

|  |
| --- |
| [課題] |
|  |
| [今後の目標] |
|  |

イ　確認対象者の継承等に向けた準備の状況

|  |
| --- |
|  |

ウ　雇用主の確認対象者に対する所見

|  |
| --- |
|  |

３　書類確認用

ア　農業従事日数（作業日誌で確認）

日、 時間

４　総合所見

|  |
| --- |
|  |

別紙様式第 18 号

#### 返還免除申請書

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

神戸市就農準備資金交付要綱第14条の規定に基づき返還免除申請書を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 返還免除を申請する理由 |  |

別紙様式第 19 号

#### 離農届

令和　　年　　月　　日

　神戸市長　宛

住　所

氏　名

下記の理由により離農したので、神戸市就農準備資金交付要綱第13条の(7)の規定に基づき離農届を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 離農日 | 年 月 日 |
| 離農理由 |  |

添付書類

・独立・自営就農者が独立・自営就農を中止又は離農した場合は、農業を廃業したことが確認できる書類（廃業届、経営資産の売却日の証明書、生産物の最終出荷日が分かる伝票等）

・雇用就農者が離農した場合は、退職したことが確認できる書類（離職票、雇用保険受給資格者証、退職証明書、社会保険資格喪失証明書等）

別紙様式第 20 号

　神戸市長　宛

#### 個人情報の取扱い

以下の個人情報の取扱いについてよくお読みになり、その内容に同意する場合は「個人情報の取扱いの確認」欄に署名をしてください。

|  |
| --- |
| 就農準備資金・経営開始資金に係る個人情報の取扱いについて市は、就農準備資金・経営開始資金の実施に際して得た個人情報について、兵庫県及び市が定める個人情報保護条例等の規定に基づき適切に管理し、本事業の実施のために利用します。また、市は、本事業による交付対象者の研修状況や就農状況の確認等のフォローアップ活動、交付申請内容の確認、国等への報告等で利用するほか、本事業等の実施のために、提出される申請書類の記載事項を、データベースに登録し、必要最小限度内において関係機関（注）へ提供し、又は確認する場合があります。 |
| 関係機関（注） | 国、全国農業委員会ネットワーク機構、兵庫県、農業経営・就農支援センター（公益社団法人ひょうご農林機構、ひょうご就農支援センター）、兵庫六甲農業協同組合、神戸市農業委員会、神戸市、農業共済組合 |

|  |
| --- |
| 個人情報の取扱いの確認 |
| 「個人情報の取扱い」に記載された内容について同意します令和 年 月 日住　所　　（法人・組織名）氏　名　　 |

別紙様式第21号

（公　印　省　略）

神　　第　　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　様

神　戸　市　長

(継続)研修計画審査結果通知書（変更）

　先に、あなたから提出のありました就農準備資金に係る研修計画の承認申請について、神戸市就農準備資金交付要綱第15条（第16条、第21条）の規定に基づき審査結果を通知します。

１．審査結果

承認　　・　　不承認

２．不承認の場合の理由

別紙様式第22号

（公　印　省　略）

神　　第　　　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　様

神　戸　市　長

交付決定兼確定通知書

　先に申請のありました就農準備資金につきまして、下記のとおり交付決定及び確定します。

１．事業名

就農準備資金（新規就農者育成総合対策）

２．交付決定及び確定額

金　　　　　　　　　　　　　　　　円

３．交付期間

年　　月　　日から　　年　　月　　日

４．今回の交付期間

年　　月　　日から　　年　　月　　日

５．注意事項

１)　研修計画、交付申請書の記載内容を変更するときは、変更手続きが必要となりますので、必ず事前に申し出てください。

２)　適切な研修を行っていないとき、研修を中止するとき、必要な報告がされないとき及び研修終了後期限内に就農しないとき等は、資金の返還対象となりますのでご注意ください。（詳細は裏面に記載）

３)　今後必要となる主な報告は、下記のとおりです。

　 (1) 研修状況報告書（様式第４号）　半年ごとに交付対象期間経過後１カ月以内。

　 (2) 就農状況報告　（様式第９号）　研修終了後６年間、毎年７月末及び１月末まで。

　 (3) 就農届　　　　（様式第14号）　独立・自営就農、雇用就農又は親元就農した場合、就農後１カ月以内。

　 (4) 住所等変更届　（様式第12号） 住所や電話番号が変更となった場合、１カ月以内。

 　等

（神戸市就農準備資金交付要綱第４条）資金の停止要件

(1)　第２条に規定する交付要件を満たさなくなった場合。

(2)　研修を途中で中止した場合。

(3)　研修を途中で休止した場合。

(4)　第10条の研修状況報告を定められた期限内に行わなかった場合。

(5)　第20条の研修実施状況の現地確認等により、適切な研修を行っていないと市長が判断した場合（例：研修を行っていない場合、生産技術等を習得する努力をしていない場合など。）

(6)　国又は市長が実施する報告の徴収又は立入調査に協力しない場合。

（神戸市就農準備資金交付要綱第５条）資金の返還

 (1)　一部返還

ア　第４条の(1)から(3)まで及び(6)に掲げる要件に該当した時点が既に交付した資金の対象期間中である場合にあっては、残りの対象期間の月数分（当該要件に該当した月を含む。）の資金を月単位で返還すること。

イ　第４条の(4)に該当した場合は、当該報告に係る対象期間の資金を返還する。

 (2)　全額返還

ア　第４条の(5)に該当した場合。

イ　研修終了後（研修中止後及び継続研修終了後を含む。以下同じ。）１年以内に、原則50歳未満で、独立・自営就農、雇用就農（農業法人等で常勤すること）又は親元就農しなかった場合。

ウ　第３条のなお書きにより海外研修を実施した者が就農後５年以内に第２条の(2)のエのａの農業経営を実現できなかった場合

エ　親元就農をした者が、第２条の(5)で確約したこと（就農に当たって家族経営協定等により交付対象者の責任及び役割（農業に専従すること、経営主から専従者給与が支払われること等）を明確にすること並びに就農後５年以内に当該農業経営を継承する、当該農業経営が法人化されている場合は当該法人の経営者(共同経営含む)となる又は独立・自営就農すること）を実施しなかった場合。

オ　独立・自営就農した者が就農後５年以内に農業経営改善計画又は青年等就農計画の認定を受けなかった場合。

カ　交付期間の1.5倍（第３条のなお書きにより海外研修を実施した者については５年間。）又は２年間のいずれか長い期間就農を継続しない場合又はその間の農業の従事日数が一定（概ね年間150日かつ概ね年間1,200時間）未満である場合。

キ　就農後、交付期間の1.5倍又は２年間のいずれか長い期間以内に第13条の報告を定められた期限内に行わなかった場合。

ク　虚偽の申請等を行った場合。

※主要なもののみ掲載しています。